

対策など必要な対策を講ずることとしております。

次に「良好な環境を育み、快適な生活を営む」ために、防災行政無線、IP告知端末、ホームページ等の情報政策の推進、森・川・海の環境整備のため、植樹祭、海岸漂

着物の撤去対策事業、生活環境の整備のため、(仮称)老部地区多目的集会施設整備事業のほか、上水道及び下水道の適正な管理運営を図るとともに、合併処理浄化槽整備を推進いたします。

また、保健・医療・福祉の充実のため、東通地域医療センターにご協力いただきながら、在宅医療、認知症患者宅訪問、健康診断、健康管理の

啓発に取り組み、健康寿命のアップを図るとともに、低年齢の水痘ワクチン、高齢者肺炎球菌、成人風疹、小中学生、妊婦、高齢者のインフルエンザ予防接種等を継続することとしております。

また、我が村は、原子力施設が立地することから、防災体制及び消防力の強化を図る必要があり、非常備消防においては長期計画に基づき、消防ポンプ自動車整備事業、消防用備品の配備を実施いたします。

次に「独自の文化を創り、内外の交流を拓く」ため、能舞をはじめとする伝統文化の継承とともに、そば街道、牧場、産業まつり、来さまいフェ

スタなどの各種イベント、東通産ヒラメをメインとした新ご当地グルメ推進事業及び都市部との交流事業、小・中学生の語学力向上を兼ねたブリティッシュヒルズ研修事業、海外研修事業など新型コロナウイルス感染症の動向を注視しながら実施することとしております。

「村の将来を担う次世代の人材育成」は、乳児子育て支援事業、乳幼児を含む子ども医療費給付事業、児童手当等の子育て支援策のほか、令和元年十月より開始いたしました幼児教育・保育の無償化の対象とならないゼロから二歳児について、村独自の無償化を引き続き実施いたします。

また、こども園における副食費補助金、通園バス運行及び添乗業務による幼児の安全輸送、外国語英語講師を含めた村独自の教員の配属による少人数学級の編成、各種学力テストの実施、学力向上のための学習塾運営に加え、高等学校通学に要する通学バス費用の無償化のほか、通学にバスを使用していない世帯に対する高等学校等生徒通学奨励費についても引き続き実施することとしております。

以上のような基本的考え方により、令和三年度東通村一般会計予算は九十億五千三百万円となりました。